

カリキュラム区分		現行カリ			シラバス区分		専攻科		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
助産学基礎領域	S103	1年	前期	助産学専攻科	必修	周産期医学	30	2	
						Perinatal Medicine			
担当教員									
草薙 康城									
関連するDPキーワード									
	① 生命の尊厳を基盤とし、助産師としての倫理観と責任感を持ち、対象を尊重することができる。								
	② 助産師としての役割や責務を自覚し、助産師であることに誇りを持つことができる。								
	③ 女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができる。								
○	④ マタニティサイクルにある対象の個性性を尊重し、対象のもつ力を最大限にひきだすための基本的な助産診断及び助産技術を獲得できる								
	⑤ 女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した子育て支援活動が理解できる。								
○	⑥ 周産期医療の高度化や多様化する価値観、時代のニーズに柔軟な対応ができる能力を身につけている。								
	⑦ 助産ケアの質の向上を図るために、研究的視点や科学的根拠を活用し、さらに探究する力を身につけている。								
授業目的									
周産期医療に必要な基礎的な知識・技術として、生殖器官、関連ある内分泌・神経系の形態構造と生理、胎児の特徴と生理、そこに発生する病態とその管理、および医療情報の査定について学ぶ。									

13回	正常産褥と産褥の異常：分娩時異常出血総論、産科ショック									
14回	総合演習：実際の症例提示のもとに、または過去の国家試験（臨床実地問題形式を主体で）をもとに、これまでに学習したことを生かして、チュートリアル形式で学習を深める。									
15回	総合演習：実際の症例提示のもとに、または過去の国家試験（臨床実地問題形式を主体で）をもとに、これまでに学習したことを生かして、チュートリアル形式で学習を深める。									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
授業に対する取り組みの積極性（20％） 筆記試験（80％） トータル60点以上を合格とする。										
教科書		医療情報科学研究所「病気がみえる（vol.10）産科」（メディックメディア）								
参考図書等		必要に応じて紹介する。								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
必要に応じて指示する。										
関連科目										
前科目										
後科目	S107	助産診断・技術学Ⅰ	S108	助産診断・技術学Ⅱ	S109	助産診断・技術学Ⅲ				
実務家教員										
備考										